



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東 大

上場会社名 愛眼株式会社

コード番号 9854 URL <http://www.aigan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下條 三千夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 向井 勇

TEL 06-6772-3383

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,998	△4.5	△71	—	76	—	△90	—
23年3月期第3四半期	14,652	△8.4	△270	—	△211	—	△887	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △107百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △913百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△4.62	—
23年3月期第3四半期	△44.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,473	20,668	88.1
23年3月期	23,600	20,815	88.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 20,668百万円 23年3月期 20,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,121	△4.9	△498	—	△340	—	△521	—	△26.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	21,076,154 株	23年3月期	21,076,154 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,396,882 株	23年3月期	1,396,682 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	19,679,390 株	23年3月期3Q	19,892,884 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P2.「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成 24 年 3 月期の個別業績予想（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,749	△5.0	△521	－	△341	－	△508	－	△25.81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災、ヨーロッパの財政危機、海外経済の減速など様々な難題に直面し、円高の影響もあり生産・輸出が減少し、また社会保障経費の拡大に伴う将来への財政不安と家計負担増加が先行き不透明感を助長、個人消費を鈍くし厳しい状況で推移いたしました。

眼鏡業界におきましては、商品特性を打ち出した販売施策や価格競争を各社展開し、激しい市場の奪い合いが続いています。

このような状況のもと、当社グループでは当第3四半期を2012年1月のNew愛眼スタートに向けた準備期間とし、第2四半期決算において実施しました「完全処分セール(設立50周年記念在庫処分セール)」に引き続き、「NEXTチャレンジセール」「カウントダウン最終処分セール」と販売促進を実施しました。New愛眼が、快適な視力は勿論、楽しく感性豊かな生活の実現を応援する、オンリーワンのライフスタイルカンパニーに生まれ変わるため、店舗の商品在庫一掃、フレッシュな商品への入れ替えを進めました。また新規顧客の獲得だけでなく、長らくの間ご愛顧いただいております地域の顧客の皆様への還元に努め、カウンセリング販売を通じて改めて当社の技術力とサービスの再認識、支持強化を図りました。また、新規需要の開拓や不採算店舗の乗換えなど新たに5店舗を開設、不採算店など13店舗を閉鎖しました。眼鏡販売着数は2011年12月までNew愛眼に向けた販売促進策を継続した効果で各年齢層において前年を上回ったものの、着単価は廉価販売により低下しました。サングラスの売上は、天候不順などの影響を受けたものの、セールが好評で前年を維持しました。以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は13,998百万円(前年同四半期比4.5%減)となりました。

海外(中華人民共和国)におきましては、日本国内の販売施策を参考に営業活動を展開し、店舗が20店舗(フランチャイズチェーン店を含む)となりました。今後も優良物件への出店と業容拡大を図ってまいります。

一方、セール支援のためのDM、テレビスポット、新聞広告などを投入し広告宣伝費が増加したものの、人件費の圧縮、節電や賃借料などのローコストオペレーションの追求に取り組み販売管理費を削減してまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の営業損失は71百万円(前年同四半期営業損失は270百万円)、経常利益は営業外収益に役員退職慰労引当金戻入額101百万円を計上したことなどから76百万円(前年同四半期経常損失は211百万円)となりました。また、四半期純損失は減損損失92百万円を計上したことなどから90百万円(前年同四半期純損失は887百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は23,473百万円、負債合計は2,804百万円、純資産合計は20,668百万円となりました。前連結会計年度末に比べ負債合計が19百万円増加し、純資産合計が146百万円減少した結果、自己資本比率は88.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月9日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細については平成24年2月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（役員退職慰労引当金）

当社は、従来、役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、退職慰労金制度の廃止に伴い、平成23年6月29日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金の打切り支給を決議しました。また、その後、退任取締役及び退任監査役並びに重任した取締役及び監査役から役員退職慰労金の一部返上の申し入れがありました。これに伴い、役員退職慰労引当金を取崩し、当第3 四半期連結会計期間末における未払額については、固定負債の「その他」に143百万円を計上すると共に、役員退職慰労引当金戻入額として101百万円を営業外収益に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,416	7,890
受取手形及び売掛金	940	934
有価証券	—	97
商品及び製品	2,248	2,285
原材料及び貯蔵品	18	18
その他	154	196
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	10,769	11,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,235	8,075
減価償却累計額	△5,665	△5,659
建物及び構築物（純額）	2,570	2,415
土地	2,140	2,140
その他	2,768	2,760
減価償却累計額	△2,346	△2,370
その他（純額）	421	389
有形固定資産合計	5,132	4,945
無形固定資産	182	167
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,894	4,398
投資有価証券	719	907
長期預金	200	107
その他	1,765	1,554
貸倒引当金	△64	△20
投資その他の資産合計	7,516	6,946
固定資産合計	12,830	12,059
資産合計	23,600	23,473

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	658	1,042
未払法人税等	132	90
賞与引当金	145	74
その他	900	1,050
流動負債合計	1,836	2,256
固定負債		
繰延税金負債	12	10
再評価に係る繰延税金負債	18	15
役員退職慰労引当金	540	—
負ののれん	7	3
資産除去債務	348	351
その他	21	166
固定負債合計	948	547
負債合計	2,784	2,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	13,004	12,874
自己株式	△967	△967
株主資本合計	24,477	24,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△33	△50
土地再評価差額金	△3,624	△3,622
為替換算調整勘定	△4	△5
その他の包括利益累計額合計	△3,662	△3,678
純資産合計	20,815	20,668
負債純資産合計	23,600	23,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	14,652	13,998
売上原価	4,819	4,436
売上総利益	9,832	9,562
販売費及び一般管理費	10,103	9,633
営業損失(△)	△270	△71
営業外収益		
受取利息	19	20
受取配当金	12	9
受取家賃	22	27
役員退職慰労引当金戻入額	—	101
負ののれん償却額	4	3
その他	56	69
営業外収益合計	116	231
営業外費用		
固定資産除却損	4	4
店舗閉鎖損失	20	35
賃貸費用	20	23
その他	11	19
営業外費用合計	57	83
経常利益又は経常損失(△)	△211	76
特別利益		
投資有価証券売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
投資有価証券売却損	0	0
投資有価証券評価損	4	0
減損損失	58	92
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	360	—
退職給付制度終了損	180	—
特別損失合計	604	93
税金等調整前四半期純損失(△)	△814	△15
法人税、住民税及び事業税	79	77
法人税等調整額	△6	△2
法人税等合計	73	75
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△887	△90
四半期純損失(△)	△887	△90

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△887	△90
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	△16
土地再評価差額金	—	2
為替換算調整勘定	△6	△1
その他の包括利益合計	△26	△16
四半期包括利益	△913	△107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△913	△107

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。